

T A C行政書士講座 無料オンラインセミナー

受験経験者のための

正しい問題演習法

2023.3.4

講師 小池昌三

セミナーの内容

TAC行政書士講座 小池 昌三 講師

- 1 合格するための得点戦略
- 2 正しい問題演習法
- 3 今すぐ始めよう
- 4 TACの受験経験向けコースとTAC利用のメリット
- 5 質疑応答(皆様の疑問点解消)

1 合格するための 得点戦略

(1) 今すぐ始める

(2) 問題演習中心の学習

(3) 6割を得点を目指す



これを踏まえて

今年の学習方法を再構築！

合格に
必要な
ものは

自己分析（合否通知書分析）

徹底的な自己分析から始める。

- （１）知識不足の分野はどこだったのか
→ 科目ごとに知識の足りないところを分析
- （２）問題形式に不得意なところはなかったか
→ 5肢・多肢・記述 & 条文・判例
- （３）ケアレスミスや時間切れはなかったか
→ 実力を出し切れていたかどうかを分析

令和4年度・合否通知書

法令等	択一式	5肢択一式	160点	小計244点
		多肢選択式	24点	
	記述式		60点	
一般知識等	択一式	5肢択一式	56点	小計 56点
総得点	択一式	5肢択一式	216点	小計300点
		多肢選択式	24点	
	記述式		60点	

令和4年度・合格者モデル

法令等	択一式	5肢択一式	112点	小計148点
		多肢選択式	16点	
	記述式		20点	
一般知識等	択一式	5肢択一式	32点	小計 32点
総得点	択一式	5肢択一式	144点	小計180点
		多肢選択式	16点	
	記述式		20点	

令和5年度・合格目標設定（180点の得点の仕方）

法令等	択一式	5肢択一式	120点	小計140点
		多肢選択式	20点	
	記述式		0点	
一般知識等	択一式	5肢択一式	40点	小計 40点
総得点	択一式	5肢択一式	160点	小計180点
		多肢選択式	20点	
	記述式		0点	

どこが足りない
かを分析する。



弱点を把握！
そこを強化！

択一・法令	120点獲得を目指す					
	問数	目標（素点）	あなた	所要時間	合計	あなた
基礎法学	2問(8点)	1問(4点)		1問2分	4分	
憲法	5問(20点)	3問(12点)		1問3分	15分	
民法	9問(36点)	6問(24点)		1問4分	36分	
総則	2問(8点)	1問(4点)				
物権	2問(8点)	2問(8点)				
債権	4問(16点)	2問(8点)				
親族相続	1問(4点)	1問(4点)				
行政法	19問(76点)	17問(68点)		1問2分	40分	
法理論	5問(20点)	4問(16点)				
行手法	3問(12点)	3問(12点)				
行審法	3問(12点)	3問(12点)				
行訴法	3問(12点)	3問(12点)				
国賠法	2問(8点)	2問(8点)				
地自法	3問(12点)	2問(8点)				
商法	5問(20点)	3問(12点)		1問2分	10分	
	40問(160点)	30問(120点)			105分	

足りないところを常に把握して、
そこを徹底的に詰めていく学習方法を構築する。

2 正しい

問題演習法

問題演習の**目的**を考えよう！

《間違った目的意識》

その問題に正解するためにする。

《問題演習の意味》

自分の知識の穴を発見して、その穴を埋めるためにやる！

正しい問題演習法

5 肢択一式

《間違った問題演習》

正しいもの

(解答)

✕

✕

○

✕

✕

1

2

3

4

5

✕

✕

○

✕

✕

すべて解答と
同じ印。



この問題は完璧！
復習しない。

《正しい問題演習》

正しいもの

(解答)

? → △

1 ×

? → △

2 ×

③ → ○

3 ○

× → ×

4 ×

? → △

5 ×

△がついた肢が
盲点



肢3・4は軽く
チェック

肢1・2・5を
徹底復習

《何回やればいいの？回数は？》

1回目

? → △
2 → △
③ → ○
4 → ×
5 → △

2回目

× → ×
? → △
③ → ○
4 → ×
? → △

3回目

× → ×
× → ×
③ → ○
4 → ×
× → ×

この問題はクリア

△がなくなれば

《○×の判断レベル》



なぜ×か人に説明できる。



根拠条文・判例が言える。



時間がかかる。

人に説明できない。

正しい問題演習法

多肢選択式

《間違った問題演習》

多肢は、時間かかるし、めんどくさい。
解答を見て、空欄に入れて1度読んで終わり。



多肢は、**判例**からの出題が多い。

- ・判例の**独特の語感**や**フレーズ**を押さえることが大事。
- ・論理的な文章だから**論理的に空欄を埋める訓練**が必要。

《正しい問題演習》

多肢は、時間かかっても、めんどくさがらず、
時間をかけて論理的に解答し、空欄に入れて何度も繰り返し読む。



キーワードにチェック。

論理的思考→文章理解穴埋めに類似。

「〇〇的」「〇〇性」には要注意。

正しい問題演習法

記 述 式

《間違った問題演習》

圧倒的多数の人がやってること

1 解答例の暗記

→ 柔軟な対応能力の欠如

2 条文・判例の書き写し

→ 時間の大幅なロス
使える知識にならない

《記述問題で求められること①》

形を変える記述問題に柔軟に対応する力。



「問いの形」に対して

「答えの形」を意識する。

暗記した知識を思い出すのではなく、
どう知識を使うか？

《記述問題で求められること②》

記述で問われる知識は

択一の知識を超えない。



知識は**択一問題**を解くことで獲得

条文・判例は書くよりも**読む**

《正しい問題演習法》

① 事例の把握

② 「答えの形」をつくる ⇐ 肝となる部分

③ 知識の記憶喚起 ⇐ 学習初期に不足

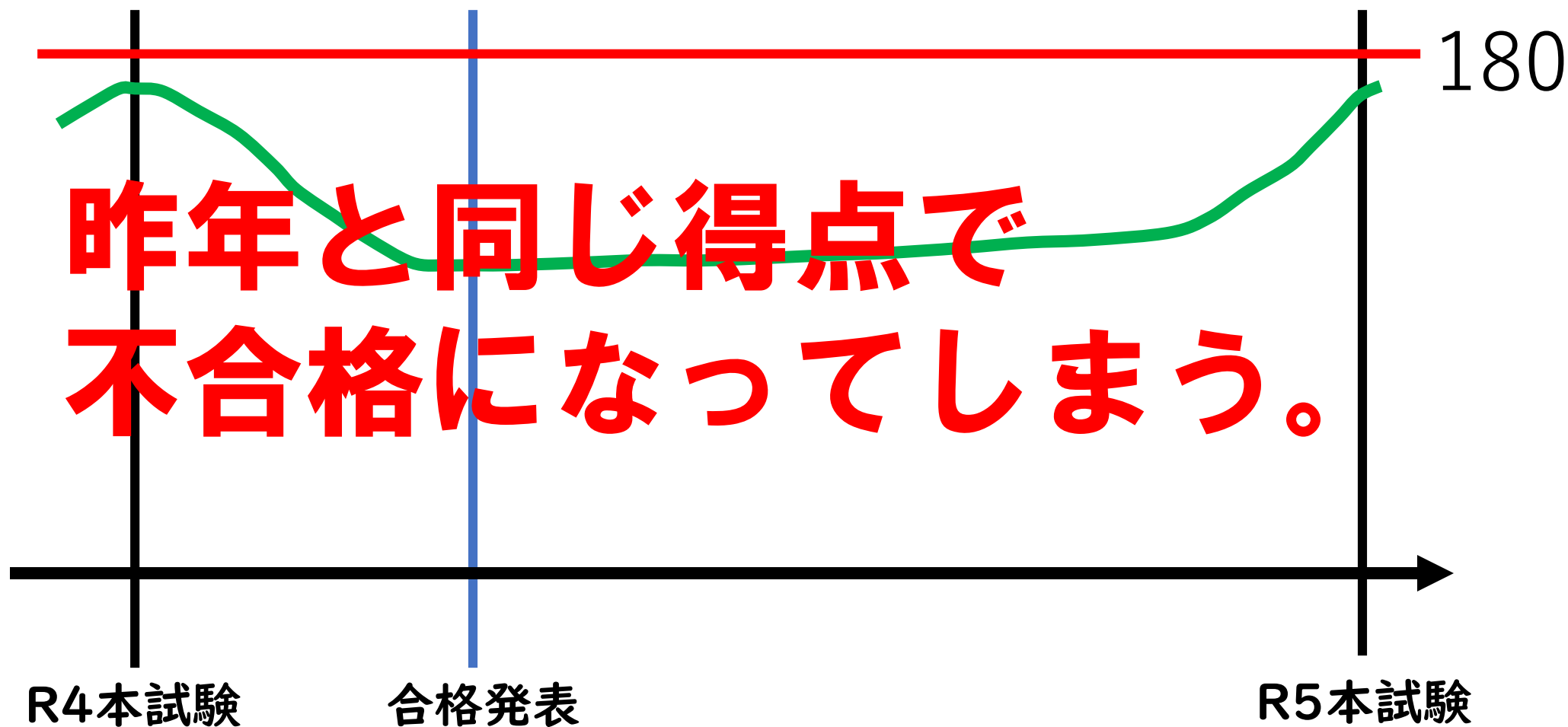
④ 「答えの形」に知識をはめ込む

①～④のどこが弱いかを常に意識しながら、弱点を補強する必要があります。

3 今すぐ

始めよう!

知識曲線



始めるならいまです！

- ★ 知識の劣化を防ぐ
 - ★ 訓練すればするほど力はつく
 - ★ 直前期の学習経験を生かす
- ⇐ 受験経験者の最大の強み

4 受験経験者向けコースと TAC利用のメリット

コース選択

プレミアム本科生・ベーシック本科生

- ・本試験の総合得点150点未満
- ・記述30点未満

答練本科生 上級講義付き

- ・本試験の総合得点150点以上
- ・記述30点以上

※上級講義付き

- ・アウトプットの前に基本知識の理解を深め、もう一度整理したい人

行政書士試験の得点によるコース選択

コース選択の場合には、記述式と一般知識を除いて、下記、法令択一（160点満点中88点以上）と法令多肢（24点満点12点以上）の合計点で6割弱（100点ぐらい）を超えているかどうかを一つの基準として、ご検討いただければと存じます。

【法令択一＋法令多肢 マークシート問題による目安】

法令択一40問 （160点） 法令多肢12空欄 （24点）		合計184点満点
22問以上＋6空欄以上 ＝およそ 100点以上	答練本科生 上級講義付き 答練本科生 A	
22問未満＋6空欄未満 ＝およそ 100点未満	プレミアム本科生 ベーシック本科生	

法令記述式には例年難易度が変化するため、「記述式で得点できているから受験経験者」、「得点できていないから基礎クラス」には必ずしもなりません。一応の目安は30点～36点ぐらいです。記述だけで言えば、3問合計で30点以上なら受験経験者クラス、それ未満なら基礎クラスがお勧めです。

【参考・法令記述問題による目安】

法令記述 3問(60点)	
各問題 10点以上 =3問の合計 30点以上	答練本科生 上級講義付き 答練本科生 A
各問題 10点未満 =3問の合計 30点未満	プレミアム本科生 ベーシック本科生

受講料が更にオトク！ 『受験生応援割キャンペーン第2弾』 3/31(金)まで！

「受験経験者割引」「再受講割引」各受講料から更に¥11,000 OFF！

<対象コース>

「プレミアム本科生」
「答練本科生 上級講義付き」
「答練本科生A」

※「ベーシック本科生」は上記キャンペーンの対象外です。

★キャンペーンの詳細は
TACホームページをご覧ください！



夢を諦めない受験生をサポート!
2023年合格目標

受験生 応援割
キャンペーン [第2弾]

受験経験者割引・再受講割引
各受講料から¥11,000 off!

TAC 行政書士講座

2023.
2/1(水)
3/31(金)